

# 政策分析シート

<b>政策名</b>	地域に根ざした生涯学習の推進	<b>政策No</b>	04	<b>部名</b>	教育委員会事務局	
<b>関連部名</b>				<b>部長名</b>	友塚克美	<b>内線</b> 3300
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	産業・教育・文化分野				
<b>目的</b>	<p>①心の豊かさや生きがいの充実等のために、区民が生涯のいつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができる社会の実現を目指す。</p> <p>②区民の多様なニーズに応えるため、図書館サービスの充実を図る。</p> <p>③区民の誰もが身近なところでスポーツを楽しめることができるよう、スポーツ・レクリエーションの環境整備を図る。</p> <p>④区内に伝わる有形・無形の文化財を保存し、継承する。</p>					
<b>指標</b>	<b>政策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>				<b>指標に関する説明</b>
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (28年度)	
	① 生涯学習センター利用者数	124,553	125,645	126,000	130,000	延べ利用者数
	② 図書館利用者登録率(%)	29.6%	29.0%	30.0%	35.0%	個人登録者数÷住基人口
	③ 区民一人当り総貸出点数	9.4点	9.4点	9.5点	11.0点	個人総貸出点数÷住基人口
	④ 体育施設の利用者数	689,888	687,163	689,000	700,000	
⑤ 荒川ふるさと文化館利用者数	22,499	21,748	23,000	25,000	展示室観覧者+郷土学習室利用者	
<b>現状と課題</b>	<p>○国際化、情報化、科学技術の急速な進展など社会が激しく変化している今日、区民が生涯のいつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができる社会を実現する必要性が増大している。</p> <p>○今年度、「子ども読書推進計画」を策定し、子どもの読書活動の推進に力を入れて取り組んでいるが、図書館においては地域館の老朽化、バリアフリーへの対応、汐入地域等の図書館が身近にない区民に対するサービスの提供のあり方が当面の課題である。</p> <p>○高齢化や健康志向の中で、スポーツ活動等を通して、いつまでも健康で暮らしたいとの区民要望は強くなっており、多様なスポーツ環境の整備・促進が課題である。</p> <p>○区内には、荒川区の歴史や文化を伝える文化財、史跡が数多くあるが、区内全域を網羅する本格的な調査は行われていないため、建造物や近代遺産についての実態把握が今後の課題である。</p>					
<b>今後の方向性</b>	<p>○地域社会の活性化、高齢者の社会参加、青少年の健全育成などの観点から、学習する機会や場の提供、指導者の育成など、生涯学習の基盤整備に努めていく。</p> <p>○子ども読書活動の促進、地域館のバリアフリー化等の改修、レファレンスやビジネス支援サービスの充実を図るとともに、汐入地域へのサービスステーションの設置を検討する。</p> <p>○体育協会やスポーツ団体、区民、ボランティア等と協働した生涯学習スポーツ振興策を進めていく。</p> <p>○文化財保護推進員や史談会等の関係団体の協力を得て、区内の文化財等の実態把握に努める。</p>					

## 政策分析シート

政策を構成する施策の優先度		
施策名	政策推進のための優先度	優先度についての説明・意見等
01生涯学習活動の支援	B	区民の自主的な生涯学習を支援するために、学習する機会や場の提供、指導者の育成など、区が基盤整備に努めることは極めて大切であり、施策の優先度は高い。
02家庭教育の推進	B	家庭における教育はすべての教育の出発点であるので、引き続き家庭教育の推進は重要である。
03図書館サービスの充実	A	図書館は、区民の生涯学習の拠点として、一番身近な存在であり、自立した区民の成長と地域の活性化の礎となる公共施設であることから、当該施策の優先度はきわめて高いと考える。
04生涯スポーツの促進	B	スポーツは、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や個々人の心身の健全な発達に必要不可欠なものであり、区民が生涯にわたってスポーツに親しむことは極めて大きな意義があることから、当該施策の優先度は高いと考える。
05伝統的文化の保存と継承	C	荒川区の歴史や文化を伝える文化財や史跡、伝統的工芸技術を保存・継承していくことは重要であるため、継続して実施する。